

日本ピュアフード株式会社 健康経営の取り組み

日本ピュアフードは「心と体の健康を第一に」を基本方針として掲げ、従業員一体となって安全・安心で働きやすい職場風土の醸成に努めます。

食を通じて『食べる喜び』と『健康の価値』を社会に提供し、持続的な社会の発展に寄与します。

さらに、従業員一人ひとりの多様性と挑戦を尊重し、働きがいの向上と健康維持・増進への継続的な取り組みを通じて、健康経営を推進してまいります。

日本ピュアフード株式会社
代表取締役社長 藤井 恵介

日本ハム株式会社、グループ会社



日本ピュアフード株式会社

健康経営最高責任者（代表取締役社長）

健康経営推進責任者（管理本部長）



企画・運営・検証

全社健康経営統括部署



相互連携

各事業所

健康管理責任者（プラント長・工場長等）

健康経営推進担当者（保健師、健康管理の実務担当者）



安全衛生委員会

管理監督職・従業員

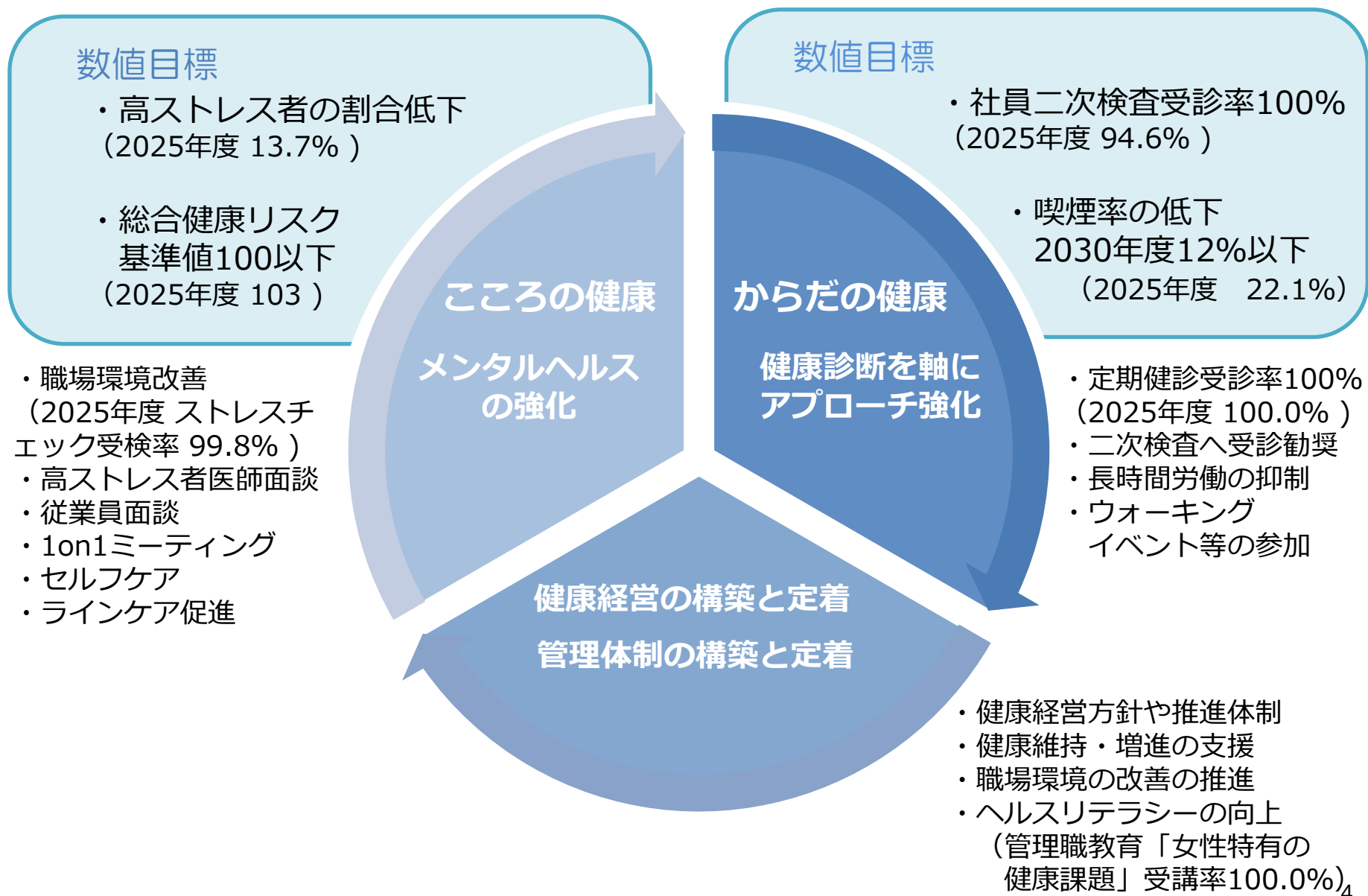
※推進活動は、労働安全衛生マネジメントシステム組織図に準ずる

産業医
健康保険組合
医療機関

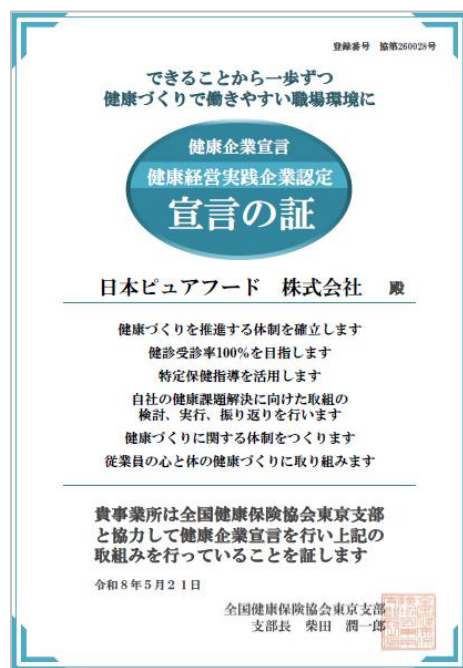


ユニオン労働組合
働きがい推進委員



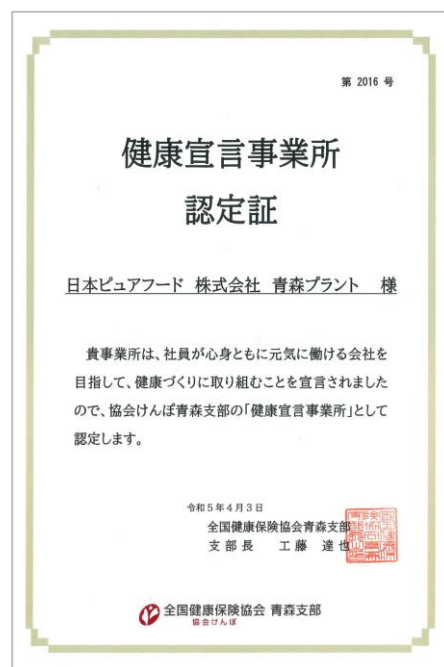


協会けんぽ東京支部 『健康企業宣言 宣言の証』

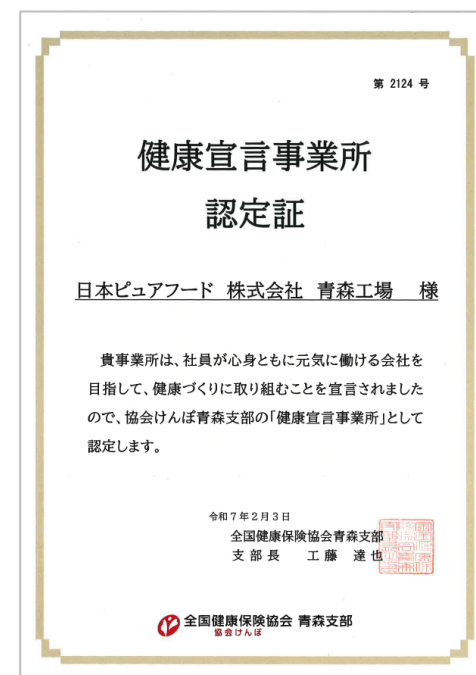


協会けんぽ青森支部 『健康宣言事業所 認定証』

青森プラント



青森工場



協会けんぽ群馬支部 『健康事業所 宣言』

伊勢崎プラント

健康事業所宣言書

当事業所は、「健康経営」の考え方にに基づき、従業員の健康増進を図り充実に働ける事業所をめざすため、「生き生き健康事業所」として、次の取組を積極的に行うことを宣言いたします。

- 健診受診率100%
 - ・被保険者(35歳以上)の健診受診率を100%とします。
 - ・被扶養者(40歳以上)の健診受診率を80%以上とします。
- 社員・家族の生活習慣改善を支援(保健指導対象者に該当した場合)
 - ・被保険者の特定保健指導の実施率を85%以上とします。
- 社員・家族の二次検査・治療の推奨
 - ・健診の結果等で、再検査や治療の必要があった場合、医療機関に受診するように推奨します。
- 「事業所オリジナルプラン」に取り組みます。

日本ビュアフード 株式会社 伊勢崎プラント
登録番号 1388
貴事業所を生き生き健康事業所として登録します。
令和4年10月14日

全国健康保険協会群馬支部
支部長 下田 正宏

協会けんぽ兵庫支部 兵庫県 『わが社の健康宣言』 健康づくりチャレンジ企業

西宮プラント

登録認定証

第1317号

日本ビュアフード 株式会社
西宮プラント 様

貴事業所は、会社全体で健康づくりに取り組むことを宣言されましたので、「わが社の健康宣言」登録事業所として認定します。

今後は、宣言内容を中心とした事業所の健康づくりを推進してください。

令和4年10月4日
全国健康保険協会兵庫支部
支部長 竹内 徹

健康づくりチャレンジ企業 登録証

第2216号

健康づくりチャレンジ企業
登録証

日本ビュアフード西宮プラント 様

貴事業所を健康づくりチャレンジ企業として登録します。従業員及び家族の健康づくりの推進をお願いいたします。

令和5年7月1日
兵庫県知事 齋藤 元彦

協会けんぽ宮崎支部 『健康宣言の証』

宮崎工場

健康宣言の証

登録番号 14007 号

日本ビュアフード 株式会社 宮崎工場
代表取締役 藤井 恵介

当社は、「健康経営」の考え方にに基づき、従業員が心身ともに元気に働ける職場づくりを目指し、次の事項について宣言いたします。

- 健診を100%受診します
- 特定保健指導対象者の初回面談率 50%以上とします
- 健診結果を活用し、必要な対策を行います
- 「食生活の改善」に取り組みます
- 「運動習慣の増進」に取り組みます
- 「こころの健康」に取り組みます
- 「禁煙や受動喫煙対策」に取り組みます
- 「適正な飲酒習慣」に取り組みます

【具体策】

- ・酒類カテゴリーと消費カロリーの目安表の掲示、健康レシピの紹介
- ・運動イベントの開催、運動機会の提供
- ・メンタルヘルス研修、感謝の気持ちの育成活動
- ・タバコ依存度チェック、禁煙、受動喫煙対策に向けた啓発活動の実施
- ・飲酒習慣スクリーニングテスト、飲酒運転防止に向けた啓発活動の実施

貴事業所を健康宣言事業所として登録いたします
令和7年10月14日
全国健康保険協会 宮崎支部
協会けんぽ

	2025	2026
高ストレス者率	13.7%	11.4%
ストレスチェック受検率	99.8%	100.0%
ワークエンゲイジメント	3.58点	3.66点
アブセンティーズム	0.4日	0.4日
アブセンティーズム (回答率)	99.3%	99.7%
プレゼンティーズム	20.0%	20.6%
プレゼンティーズム (回答率)	98.2%	98.3%

※ 測定範囲

受検期間に在籍している従業員 ※出向者、派遣社員、長期休務者除く

※ 測定方法（測定人数）

アブセンティーズム：アンケート調査に基づく、直近1か月間に健康上の理由で休んだ日数の平均値（2026年度、1,089名）

プレゼンティーズム：SPQに基づく、過去4週間の仕事のパフォーマンスに関する自己評価から算出した損失率（2026年度、1,073名）

ワークエンゲイジメント：当社グループ独自の設問に基づく、従業員エンゲージメントの平均スコア（2026年度、1,073名）

	2024	2025
休業災害度数率（食品製造業平均）	3.37	3.54
休業災害度数率（日本ピュアフード平均）	2.25	1.91
強度率（食品製造業平均）	0.11	0.10
強度率（日本ピュアフード平均）	0.05	0.03

【判定基準】

度数率： 災害発生の頻度を表す指標。 計算式「休業労働災害件数÷延実労働時間数×1,000,000」

強度率： 災害の重さの程度を表す指標。計算式「延労働損失日数÷延実労働時間数×1,000」

※食品製造業の対象期間は1月～12月ですが、当社の記載対象期間は4月～翌年3月で掲載しております。